

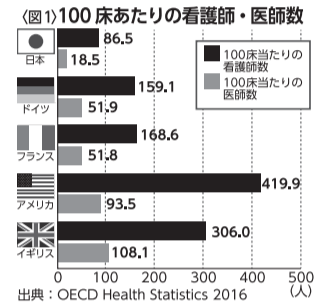
# 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名

## 署名でいのちと健康を守りましょう！

新型コロナウイルス感染症拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼし、医療をはじめ社会保障・福祉体制の脆弱さを明らかにしました。

医師・看護師の体制はOECD（経済協力開発機構）38カ国の先進国が加盟）平均以下、100床当たりの数も少ない状況（図1）で変える必要があり。また、介護保険負担の増加とサービスの低下が続いています（図2）。

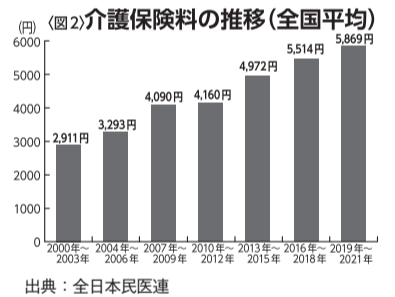
いのちと健康、暮らしを守り、新たな感染症や大規模災害などに備えるため、医療・介護・保健所など社会保障の拡充を求める署名に取り組みます。



みなさんの署名をお寄せください。

### 署名の秋、返信用封筒の活用を！

毎年、秋に様々な署名が取り組まれます。「75歳以上医療費窓口負担2倍化ストップ署名」「介護保険制度の抜本的転換を求める署名」などを呼びかけています。今年にはコロナ禍とい



## 私の心の財産

心に残る事例  
忘れられない利用者さん⑬

私がケアマネジャーになる前、デイサービスの相談員として働いていたころ、腰の痛みのために思うように生活ができなくなった男性の利用者さんがいました。

### 「キャッチボールがしたい」

利用者の声に教えられたこと

千秋病院介護保険サービスセンター  
ケアマネジャー 寺本 美穂

初めて自宅を訪問した時は、カーテンを閉めた部屋でパジャマのまま、髪の手もできず腰の痛みのために辛そうな表情をしながら話をしていました。

しかし、デイサービスに通うようになると徐々に表情が明るくなり、私たちスタッフに「野球が大好きだったんだ。昔のようによろしくキャッチボールができるようにならないかな」と目標を話してくれました。

腰の痛みは、継続的な受診とデイサービスでラジオ体操や集団体操、レクリエーションにと積極的に参加したことで徐々に改善が見られ、デイサービスでのキャッチボールができていくまで回復しました。

ある日、「元気がなくなったから、ここ（デイサービス）に1回は機械換気が行われています。換気は自然には行えず、意識して実施する必要があります。夏冬は窓を閉めてエアコンに頼りがちです。しかし、秋は窓を開けて換気するのは絶好の季節です。できるだけ外の空気を取り入れて快適に過ごしましょう。」

### 笑顔を支えたい

この時の経験から介護とは、「人の手伝いをすることが仕事ではなく、相手の気持ちを理解し、目標の達成に向けて一緒に取り組むことが仕事なんだ」と感じました。

利用者さんが元の生活に少しでも近づき、戻ることができるよう専門職としてもっと応援したい気持ちで芽生え、ケアマネジャーを目指しました。現在は、利用者さんに支えられながら日々頑張っています。

これから先も利用者の方々が笑顔で過ごせるように、全力で支援していきます。

## 住まいの健康情報

### 「換気」に喚起を！

稲沢支部 湯浅 典久

保健所の元環境衛生監視員が健康で快適に暮らすための情報をお知らせします

暑い夏も終わり、季節は過ぎしやすい秋となりました。新型コロナウイルスの感染予防対策として「換気」の重要性が指摘されています。戦後、住宅の洋風化が進み、60年代にアルミサッシが登場すると、急速に住宅の気密性が高まりました。夏を旨とすべし〃という

開放型住宅から、夏冬快適に過ごせる閉鎖型住宅への大変革です。そのため、住宅建材から発生するホルムアルデヒドなどの化学物質により、90年代から健康被害（シックハウズ症候群）が増加。対策として03年以降の新築住宅は24時間換気が義務付けられ、2時間

## 健友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chinkai.com/fukushi>

### 娘さんと一緒に 懐かしのわが家へ

特別養護老人ホームちあき第一 ケアワーカー 山田 哲矢

男性利用者さんの家族に協力いただき、本人が住んでいた家へ一時帰宅することができました。

自宅付近に来ると、娘さん夫妻と昔から交流があった近所の方々がお出迎えのあいさつ。本人は「おー」と左手を挙げながらこた



自宅に到着すると娘さんが「ここはお父さんが住んでいたところだよ」と声を掛けました。本人は覚えていたが、本人は覚えていない様子で、娘さんは少し寂しそうな表情を浮かべられました。

しかし、しばらく話をしていると「このへんも変わったな」と辺りを見渡しなが

娘さんが「思い出してきた？」と聞くと、「思い出した」と言われ、その時は娘さんも笑顔になりました。

施設に帰る前に娘さんから「本当にありがとうございました。とてもうれしかったです」とお礼を言われた時は、この外出企画を立ててよかったと心の底から思いました。何より、ここに住んでいたことを、本人が思い出してくれたいことをうれしく思います。

### ボランティア紹介

岩田三千代さん(69)



ねこの手の送迎では、「ありがとう」の声に励まされていきます。これからは安全運

転で、より喜んでいただけるお手伝いができたらと思っています。子どもの頃からなりたかった幼稚園の先生として定年を迎えました。今は対象年齢こそ大きく差がありますが、いろいろな方々との出会いも楽しくて、充実した生活です。

自分の将来を重ね合

### ねこの手ネット

NPO法人 生活助け合い 外出支援ボランティア募集中!



詳しくは藤嶋 05866・81110900まで